

The Japanese
Society of
Practitioners for
Pediatric Dentistry

JSPP

【入会方法】JSPPのHP (<http://www.jspp.net/>) より入会資料請求フォームに記載の上、ご請求ください。

年会費 10,000円、入会金 10,000円

「東日本大震災そして原発事故とJSPP」



全国小児歯科開業医会 理事

国崎 幸史

くにさき小児歯科 福島県福島市開業

私こと、JSPPに入会して早20年。現在、東北地方選出の理事として、理事会の末席を活しております。

上記題名ですが、決してJSPPが太平洋沖地震を発生させたわけでも、原発事故に関与したわけでもありません。

私は、予期せぬ形で、世界的に超有名となってしまいましたFukushimaの県庁所在地、福島市で開業いたしておりますが、全国の皆さんがご存知のように、東北地方を中心として東日本広域を襲った地震・津波による被害は、まさに未曾有の惨事で、政府の対応の稚拙さと被害地域が広範囲であることもあいまって、瓦礫処理ひとつ取り上げても、仮処理が20～30%程度と復興どころが復旧も遅々として進みがたい状況であることはご存知のとおりです。

そして、当県では、天災に追い討ちをかけるような明らかな人災としての原発事故が、未だ収束せず続いております。近隣の計画的避難区域までは、当院から車で30分程度の距離ですが、福島市自体も、政府の判断が避難対象としていないだけの話で、国とは違った見方で検討しますと、福島市・二本松市・郡山市など、数10万人レベルでの避難勧告がなされていてもおかしくなかった状況ともいえるでしょう。幸い？福島市は、現在、日常をほぼ取り戻しておりますが、放射線量は、一時より低下はしているものの、やや高値安定傾向が続いているところです。

震災とJSPPの関連ですが、私個人（被災自体は軽度）の周辺からの話が中心になってしまうことはお許しください。

震災直後の混乱期、半月近くの断水やガソリンをはじめとする物資不足の中、不安な日々を過ごしておりましたところ、メールにてJSPPの理事の方々や、小

児歯科関連の皆様から、ご心配や励ましの言葉を多数いただきました。本当に有難く感じたところです。その後、JSPPとして、避難されている方々、特に子どもたちに何かできないかとの連絡をいただき、宅急便が集配所留めながら復旧した時点からは、理事や一部大学関係者の方々などからも含めて、歯ブラシ等口腔衛生用品などの支援物資を多数送っていただき、自分の車のガソリン残量が許す限り、できるだけ多くの避難所めぐりをさせていただきました。

各避難所には、まだ、満足の支援物資が行き届いてはいない時期でしたので、歯ブラシも使い捨てのものしかないところや、子ども用は配給されていない施設もあり、皆さんに送っていただいた良質な歯ブラシなどは、タイムリーなものとしてたいへん喜ばれたところです。また、ある理事の先生には、長野から、車ではるばる郡山までおいでいただき、子ども達を激励いただくとともに、パワフルでウィットにあふれたお口のケア活動をしていただきました。本当に頭の下がる思いでいっぱいになりました。

震災から、早3ヶ月、被災地への支援活動も、中長期的に継続し続けることは、なかなか難しいことなのかもしれません。現在、JSPPでは、被災地の子ども達を「長期的に支援」しようとの考えのもと、無理のない形でプランを立ち上げておりますが、「子ども達が笑顔を取り戻すための一助となるようなことが、ほんのわずかでもできれば」というのは、日々子ども達にかかわる者にとっては共通の思いであるものと信じるところです。

JSPPの活動

JSPP (全国小児歯科開業医会) は小児の保健の向上と小児歯科臨床のより良い発展のための活動を行っています。

①総会・研修会の開催

小児歯科臨床と小児の保健に関する研究会を開催し、会員相互の親睦とともに小児歯科医療保健の研鑽に努めています。

②患者紹介ネットワーク

全国の会員をネットワークで結び、患者さんの紹介や情報の交換を行っています。

③研究助成

大学や研究機関での研究を助成して、若い研究肩の育成に協力しています。

④月刊「小児歯科臨床」の編集協力を行っています。